

# 「MADE IN SAIGA」を 合言葉に



①携帯電話用  
液晶クリーナー



ストラップ

## 株式会社サイガ

### ノベルティグッズで 大ヒットを連発

企業が商品の販売促進を行う際、重要な役割を担うのがノベルティグッズである。ブランドへの興味や関心、認知度を高めたり、購買意欲を喚起する等、その効果は様々。だが近年、世の中に多種多様なノベルティがあふれる状態が続いていることもあり、通り一遍のアイテムでは望む効果を得られない場合も多い。このような業界にあつて、サイガは1か月250万個の出荷を記録した①携帯電話用液晶クリーナー（平成13年）や、国内シェアナンバーワンを誇った②携帯電話用スクリーンカット（平成16年）等、大ヒット商品を連発してきたバイオニア的企業である。

「ノベルティにとって大切なのは、商品コンセプト、予算、納期の3つの要素です」と話すのは雑賀宗清社長。



②携帯電話用スクリーンカット

もとは製袋業として創業した同社が、販促品市場において成功を収めた背景には、この3つのポイントへの徹底したこだわりがある。

「まずは商品のコンセプトとターゲットを明確にすることが基本。そのため当社では自社でデザイナーを抱え、企画立案から製造までを一貫して対応できるようにしています。同時に、技術面においては他社に先駆けて超音波加工を導入している。超音波とは、人間の耳に聞こえない高い振動数を持つ弾性振動波のこと。従来までの高周波加工にくらべて指向性が高く高解像度のため、例えば小型携帯クリーナーやワッペンなどの加工においては、その精度を飛躍的に向上させることができるのだ。1秒間に2万振動という高エネルギーで素材が自然発熱により溶着・溶断し、断面に「ほつれ」が出ないの、フェルト材などの特殊材料のカットにも大きな威力を発揮する。

### 中国工場でも 徹底した品質管理を追求

同社の製造部門は、日本工場と中国工場の2工場体制を採用。技術開発を伴う小ロット生産を日本でコストを抑えた大量生産は中国で行う。「納期や予算についてのお客様からの幅広い要望に応えられるのが、このシステムの強みです。当社では、両工場での品質に差が出ないよう『MADE IN CHINA』ならぬ『MADE IN SAIGA』を合言葉に、国内製品のクオリティを中国製品にも求めています」と雑賀宗清社長。

雑賀社長。中国でも各工程での検品はもちろん第三者検品を行うなど、現地に置いた支社を通しての徹底した品質管理を行っている。

ここ数年も、携帯電話用スクリーンカットやスキミング対策カードなど、ユーザーニーズを的確に捉えた商品を発表し続ける同社。製袋業で蓄積したノウハウを活かし、自由な発想で進化を続ける「21世紀型製造業」のモデルケースと言えるだろう。

### 主な事業内容

販促グッズ企画  
製造、包装服飾  
資材製造販売、  
超音波デザイン  
・ウエルダー加工、  
製袋加工イン  
ライン用機械  
(パンチング、超  
音波溶接機)販売、  
その他製袋  
事業全般等



雑賀宗清さん  
代表取締役社長

### 株式会社サイガ

### Company Profile

住所 / 〒547-0014  
大阪府大阪市平野区長吉川辺2-8-25  
創業 / 平成元年1月  
設立 / 平成15年12月  
資本金 / 2,500万円  
従業員 / 31名 (平成21年1月現在)  
TEL / 06-6760-1177  
FAX / 06-6760-1178

大阪  
17

<http://www.saiga.biz/>